自分の単価

自分の1時間当たりの単価を確認してみませんか？

では、年収500万円の人の1時間あたりの単価を計算してみましょう。

仮に毎日7時間、月20日、12ヶ月、残業無しで働くと、年間労働時間は1,680時間（7時間×20日×12ヶ月＝1,680時間）となり、年収500万円を1,680時間で割ると1時間当たりの単価は約3,000円（500万円÷1,680時間＝2,976円）になります。

ただ、この１時間当たりの単価3,000円には、自分の法定福利費や会社の固定費等が加味されていません。

（1時間当たり3,000円売上げても、自分の給与しか賄えません）

業種により違いますが、自分の給与から計算した1時間当たりの単価の3倍から5倍の売上を上げないと会社に利益は出ません。

単価が3,000円の人の場合は9,000円～15,000円になります。

（参考までに自動車修理工場の整備士さんの単価は5000円～10,000円だそうです。）

　一度、自分の１時間当たりの単価を計算し、次を見直してみてはいかがでしょうか？

１．自分の売上高は適正か

　　（給与に見合う売上高を計上しているか等）

２．自分が行っている仕事が単価に見合っているか

　　（コピーや郵送等の仕事を単価の高い人が行っていないか等）

今は、上記１．２が適正でなくても自分の１時間単価を意識し行動することで、行動パターンに変化がおこりいずれ適正になります。

以上